

まちづくりアンケートにご回答いただく際に、説明が必要な語句を以下の通りまとめています。必要に応じて、回答の際に、ご利用ください。なお、アンケートの本文中では、対象となる語句に「※」印をつけています。

『問2. 市の取り組みの満足度と必要度についておたずねします。』(P2～4)

項目	質問No.	掲載ページ	語句	説明
住みよいまち	1	2	ちあぼーと	子どもと保護者など、子育てにかかわる方が気軽に立ち寄れる場を提供し、妊娠期から18歳までの様々な相談にワンストップで切れ目のない支援を行う、白杵市子ども・子育て総合支援センターの愛称。 子どもたちとパパママの遊び・集いの場や子どもに関する手続きの場などとして利用することができます。 所在地：白杵市大字白杵72番50(白杵市役所白杵庁舎横)
住みよいまち	3	2	うすき石仏ねっと	病院、歯科医院、調剤薬局、介護施設、消防署などの参加施設の間で、病気、薬、検査結果などの情報を共有するシステムです。無駄の少ない安全で質の高い医療・介護サービスの提供を目指しています。 白杵市医師会、白杵薬剤師会、白杵歯科医師会、白杵市などで構成する「うすき石仏ねっと運営協議会」が運営しています。
住みよいまち	3	2	在宅医療と介護の連携	医療や介護等の関係者が課題を共有し、つながりを深めることで切れ目のない支援が提供できる体制を整え、より安心して暮らせる白杵市を目指す取組。
住みよいまち	3	2	後発医薬品(ジェネリック医薬品)	新薬(先発医薬品)メーカーの特許期間等が終わり、他の医薬品メーカーが製造・販売する医薬品のこと。開発に係る期間や費用が抑えられるため、先発医薬品と比べ安価となっています。
住みよいまち	3	2	救急安心センター事業	救急安心センター事業(通称：＃7119)は、市民が急な病気やけがをしたときに、救急車を呼んだほうがいいのか、今すぐ病院に行ったほうがいいのかなど迷った際の相談窓口として、電話で専門家からアドバイスを受けることのできる電話相談事業。
住みよいまち	4	2	老人クラブ	地域を基盤として様々な活動を行う高齢者の任意団体。 白杵市では、社会奉仕活動、教養講座、健康増進運動に活躍している市内の老人クラブに対し、活動費の助成を行っています。
住みよいまち	4	2	高齢者サロン	地域住民が主体となって運営・参加を行い、高齢者であればだれでも参加できる地域交流の場。 白杵市では、介護予防事業のひとつとして、高齢者が住み慣れた地域で生き生きと過ごすことができるよう支援しています。
住みよいまち	5	2	カラフルカフェ	年齢・性別、障がいの有無に関係なく、みんなで楽しく時間を過ごすことのできる交流カフェ。白杵市では、障がい福祉相談支援事業所等へ委託し、人との交流が活発な地域づくりや、余暇活動の場づくり、障がいのある人もない人も相互理解を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めています。

項目	質問No.	掲載ページ	語句	説明
住みよいまち	6	2	成年後見制度	認知症や精神障がい等により判断能力が不十分となった方の財産管理や身上保護、意思決定を支援する制度。 白杵市では、成年後見制度の利用促進のため、白杵市社会福祉協議会へ委託し、白杵市市民後見センターを設置。後見に関する相談や申請の受付等を行うとともに、利用者に寄り添う市民後見人の養成を進めています。
安心・安全なまち	7	2	地域振興協議会	地域内の団体が世代や立場等の枠を超えて連携することによって、地域の一体感や安心感を生むことを目指し、地域内の既存の様々な活動団体(自治会、子ども会、スポーツ少年団、青年団、女性の会、消防団、老人会など)がまとまった組織。
安心・安全なまち	8	2	空き家バンク	空き家(・空き地)を有効活用し、定住促進による地域の活性化を図ることを目的に、白杵市が運用している制度。 市内の空き家(・空き地)の所有者から登録の申込みを受け、登録された物件情報を白杵市のホームページなどで、移住・定住の目的で利用を希望する方に情報提供し、利用促進を支援する仕組みです。
安心・安全なまち	13	3	コミュニティバス	地域住民の移動手段を確保するために地方自治体等が運行するバス。 白杵市では、病院、買い物施設、公共施設等がある市内中心部を循環する市内循環線(ふぐバス)をはじめ、9つの路線についてコミュニティバスを運行しています。
安心・安全なまち	14	3	防災士	自助、互助、協働を原則として、社会の様々な場で減災と社会の防災力向上のための活動が期待され、かつ、そのために十分な意識・知識・技能を有する者として認められた人。 防災士の認定は、日本防災士機構という組織で行っており、白杵市では、令和7年1月時点816名の方が防災士として登録されています。
安心・安全なまち	14	3	自主防災組織	自治会などで地域住民が協力して、「自分たちのまちは自分たちで守る」ことを目的に、日頃から様々な活動を行う組織。 訓練や研修などを通して住民相互の連携を深め、地域内の防災知識の普及啓発や防災訓練などを行い、災害発生時には、初期消火や避難所運営などの役割を担います。
活気あふれるまち	17	3	ほんまもん農産物認証制度	化学肥料・化学合成農薬の使用を避け「うすき夢堆肥」等の有機質肥料で「土づくり」を行った圃場を、有機JAS登録認証機関の助言を基に白杵市が審査し、市長が認証する制度。 ほんまもん農産物認証された圃場で生産された農産物は、「ほんまもん農産物」として、金色「ほ」のシールを貼って市内外で販売されています。 
活気あふれるまち	18	3	うすきの地もの	白杵の風土・自然循環の中で育まれた資源・食材を活用し、使う人・食べる人のことを考え大切に作られた魅力あるこだわりの加工品として、白杵市が認証した商品。 認証した商品を、市内外に発信することにより、地産地消の促進と地域産業の活性化、「食」による観光の振興をめざします。

項目	質問No.	掲載ページ	語句	説明
学びのあるまち	20	4	ICT	ICTとは、Information and Communication Technology(インターネット アンド コミュニケーション テクノロジー)の略で、コンピュータやインターネット等の情報通信技術のこと。 ※臼杵市では、文部科学省が提唱するGIGAスクール構想に基づき、令和3年度から児童・生徒1人1台の端末(タブレット)等のICTを活用した教育を推進しています。
学びのあるまち	22	4	臼杵っこガイド・学芸員	「臼杵っこ検定」の上・中級合格者のなかから、ガイド・学芸員に参加することを希望した子どもたちが講習を受けてイベントなどの際にお客様に解説を行います。 「臼杵っこガイド」国宝特別史跡臼杵磨崖仏について学び磨崖仏についてガイドを行います。 「臼杵っこ学芸員」臼杵市歴史資料館の展示物について学び資料館に展示している展示について解説を行います。
思いやりのあるまち	24	4	環境出前講座	市内の学校や地区公民館及び各種団体などに、臼杵市の職員や大分県環境教育アドバイザー、九州電力などが出向いて行う、環境問題やエネルギー問題などに関して行う講座。 令和6年度は、計5回開催しました。
思いやりのあるまち	25	4	臼杵市パークゴルフ場	令和6年9月に旧埋立場跡地に整備した、専用のクラブとボールを使って、芝生で覆われたコースを回り、カップインするまでの打数を競うスポーツ「パークゴルフ」をするための施設のこと。ゴルフよりも手軽に楽しめるように設計されており、子どもから高齢者まで幅広い年齢層で親しまれている。 所在地:臼杵市大字久木小野526番地(臼杵市清掃センター隣接)
思いやりのあるまち	26	4	消費生活センター	消費生活センターとは、地方自治体が設置する相談窓口です。臼杵市消費生活センターでは、専門の相談員が訪問販売や電話勧誘販売、インターネット販売、多重債務等の消費生活等に関する相談に応じ、問題解決のための助言やあっせん等を行っています。また、地域や学校に出向き出前講座を実施しています。 所在地:臼杵市大字臼杵72番1(臼杵市役所臼杵庁舎市民課4番窓口)

『問3. 市の取り組みに対して、あなたの意識や考えをおたずねします』(P5)

質問No.	掲載ページ	語句	説明
4	5	臼杵市消費生活センター	<p>消費生活センターとは、地方自治体が設置する相談窓口です。臼杵市消費生活センターでは、専門の相談員が訪問販売や電話勧誘販売、インターネット販売、多重債務等の消費生活等に関する相談に応じ、問題解決のための助言やあっせん等を行っています。また、地域や学校に出向き出前講座を実施しています。</p> <p>所在地：臼杵市大字臼杵72番1(臼杵市役所臼杵庁舎市民課4番窓口)</p>

『問6. 市のデジタル化について、おたずねします』(P9)

質問No.	掲載ページ	語句	説明
11	9	SNS	<p>ソーシャルネットワーキングサービス。 インターネット上で個人の考えや写真などを共有し、他の人と交流するためのサービスです。(LINE、Facebookなど)</p>
11	9	公衆Wi-Fi	<p>無線で繋がるインターネットのことです。公衆Wi-Fiに接続すると、スマートフォンやパソコンなどで誰でも無料のインターネットが利用できます。</p>